

令和3年度 FD 実施計画書・報告書

令和4年3月現在

I 学部学科・研究科名

食物栄養学科

II-1 実施計画①【概要】

II-2 実施報告①【概要】（年度末記入）

取組No.	A FD センター重点項目	FD2021 取組項目	A FD センター重点項目 達成内容
1	DP 達成度評価の現状と課題抽出・計画策定 ・ DP ルーブリックの策定に向けた問題検討、目標・計画設定 ・ DP ルーブリックに関するアセスメントプランの検討	I-1-(1)	教育ワークショップでの「食物栄養学科におけるルーブリック評価の活用と DP ルーブリック策定に向けた課題報告」にあたって現状の DP とカリキュラムの整合性について検討し、全体的な見直しが必要であることが明らかとなった。その結果、学科内ワーキンググループを結成し、新 DP 案を作成しルーブリックを作成している。カリキュラムマップ、カリキュラムツリーを作成中である。
2	授業ルーブリック・課題ルーブリックの推進 ・ 各学科におけるルーブリック導入率 （授業ルーブリック・課題ルーブリック）の向上 ・ ルーブリック共通フォーマット導入の検討	I-2-(1)	食物栄養学科はルーブリック導入に積極的に取り組んでおり、令和元年度に専任教員全員の導入が完了している。FD センターが提示したルーブリック例を研修会で共有し、ルーブリック共通フォーマット導入を検討した。
3	Society 5.0 の到来に備えた DP/CP の見直し ・ 数理・データサイエンス・AI に関連する科目等の設置検討	I-1-(4)	DP ルーブリック策定に向け、DP 及び CP の見直しを並行して行った。栄養士養成モデルコアカリキュラムをベースに新たな DP を設定し、新たな DP の中に「情報リテラシー」の項目を追加し関連科目を検討した。
4	「成績評価ガイドライン(仮)」のポリシー策定 ・ FD センターから提供された成績評価ガイドライン(仮)(暫定案)をもとに研修会実施・意見共有	I-2-(2)	成績評価ガイドラインにおいて「B」を基準と捉え、後学期の成績分布を各教員が示し妥当性を検証した。さらに年度末の FD 研修会にて1年間の各科目の成績分布を公開し現状を把握した。さらに FD センター「成績評価ガイドライン 2021」の内容を共有し、学科の評価分布の目安を検討した。
5	各学科・研究科内 FD 研修会と情報共有の場の推進	I-2-(3)	学科 FD 研修会（助手含む）を年4回開催し、12 テーマについて報告・意見交換を行った。学科会議においても、FD 進捗状況報告を行った。
取組No.	B その他取り組み項目		B その他取り組み項目 達成内容
6	WEB 授業と対面授業の両立による教育効果の検証及び改善		以下の内容について、4 回の研修会が開催された。 本学科では、栄養士専門科目においては対面授業を中心として実施された。学科 FD 研修会で各科目における授業アンケート結果とともに ICT 活用の実践例について共有した。さらに実験・実習科目では、講義部分や調理示範等を動画配信し予習・復習教材として活用し、対面授業での学びの深化を図った。授業アンケートでも予習・復習しやすいとのコメントが寄せられた。

7	社会・地域貢献活動の強化と学生の参画によるキャリア教育の推進	有明海ツーリズムとの共同研究で地産地消の取り組みを開始した。さらに福岡県環境部循環型社会推進課および柳川市水産振興課との連携を進めた。これらの活動について、学生がレシピ開発や現地視察などに参画した。
8	卒業生を対象としたオンラインによるリカレント教育システムの構築及び栄養士ブランド校の浸透と情報発信	卒業生を対象とした管理栄養士国家試験受験準備講習会をWEB配信にて開講し、23名が受講した。おひさま保育園と共同でレシピ集を作成し関係各署に配布し、情報発信をした。さらに卒業生との連絡体制の検討・整備のために学科内FD研修会で協議し、チームコミュニケーションツール・slackの利用を開始した。

Ⅲ-1 実施計画②【詳細(実施事項・内容、実施組織、評価項目等)】

Ⅲ-2 実施報告②【詳細(実施事項・内容、実施組織、評価項目等)】 (年度末記入)

取組 No.	予定時期	内容	実施日	達成内容(未達の場合は理由を記載)
6	7 月	「ICT を活用した授業推進」 ・WEB 授業と対面授業併用の実態把握と課題について	7 月 1 日	全教員が対面授業における WEB コンテンツの活用方法について現状報告を行った。予習・復習の為の授業資料事前・事後配信は全教員で取り組まれており、授業アンケート結果から課題点を抽出し、次年度に向けた方向性が示された。
6		「初年次教育の内容検討と新入生の基礎学力の現状把握」 ・大学基礎演習における WEB 授業導入報告 ・プレイメントテスト結果報告と LSC との連携	7 月 1 日	大学基礎演習でのアクティブラーニング(プレゼンテーション)を Teams によるオンラインで実施した。対面で行うよりもリラックスして取り組み、入学後最初のプレゼンテーションとしては適切であった。プレイメントテスト結果を公開し、基礎科目の学力状況について情報共有した。
1		※「ディプロマポリシールーブリックの策定に向けた課題検討」 ・学生の自律的学修マネジメント推進に向けて	9 月 6 日 12 月 23 日	ディプロマポリシールーブリック作成に向けて DP とカリキュラムの整合性について確認し、全体的に見直しが必要であることがわかり、課題点を教育ワークショップにて報告した。学科内で協議し、栄養士養成モデルコアカリキュラムに準じて DP を設定する方向性を定めた。
7	10 月	「学生の参画による食に関する地域貢献活動」 ・新たな食開発による地域貢献活動への学生参画	10 月 14 日	柳川市との包括連携協定による新たな食開発の取り組みについて報告があった。レトルト生海苔リゾット開発、シオフキとシバエビのメニュー開発、海苔色素抽出によるハタキ海苔の再利用検討などに産学官連携で取り組んでいる。
6		「令和 3 年度前期授業結果公表と授業改善について」 ・アクティブラーニング実践報告及び検証	10 月 14 日	前期の授業アンケート結果について全教員より報告し、共有した。新たに加えられた「授業時間以外の学修時間」についても検討し、課題が課せられる実験・実習科目で学修時間が多く取られていた。各授業の WEB 等を用いたアクティブラーニング内容についても報告がなされたが、検証までは至らず次年度の課題である。
2		※「ルーブリック導入の現状把握と課題」 ・授業ルーブリック・学科共通ルーブリック導入の検討	9 月 6 日	教育ワークショップでの報告に際し、全教員の授業ルーブリック・課題ルーブリック実施状況を調査した。専任教員は全員ルーブリック導入及び実施が完了しており、DP ルーブリック策定に向けて、学科共通のルーブリック作成に着手している。
8	12 月	「栄養士ブランド校の浸透と情報発信」 ・付属幼稚園・保育園との食を介した連携の強化	12 月 23 日	本学付属おひさま保育園との共同で、残食量減を目指した介入研究に取り組み、完食する園児が増加した。園児の噛む力と運動能力に相関関係があることもわかり、今後分析を継続する。第 5 号となるレシピ集も作成し、学内外に配布済みである。

取組 No.	予定時期	内容	実施日	達成内容(未達の場合は理由を記載)
8		「卒業生を対象とした WEB によるリカレント教育システムの構築」 ・管理栄養士国家試験受験準備講習会 次年度の方針検討	12 月 23 日	食物栄養学科卒業生を対象に管理栄養士国家試験受験準備講習会を、Teams を用いた WEB 配信にて開講し、23 名が受講した。講義資料配信、受講アンケート、e ラーニングすべて WEB にて実施し、システムの構築が完了した。次年度は同窓会と連携を強化し告知方法を検討する。
4		※「成績評価ガイドラインポリシー策定の検討」 ・FD センターから提供された成績評価ガイドライン(仮)(暫定案)検討	3 月 10 日	FD センターより出された成績評価ガイドラインについて以下の様に認識を共有した。 ・B(良):到達目標に達する ・C(可):合格ライン
8	2 月	「卒業生との連絡体制整備・強化」 ・食物栄養学科卒業生専用サイト開設の検討	12 月 23 日	卒業生との連絡体制整備について検討し、専用サイトではなくコミュニケーションツールを用いた体制を構築を試み、20F 卒業生を対象に試験的に導入を試みた。
6		「令和 3 年度後期授業結果公表と授業改善について」 ・アクティブラーニング実践報告及び検証	3 月 10 日	後期の授業アンケート結果について全教員より報告し、共有した。現在の成績分布を公開し、今後「成績評価ガイドラインポリシー」に沿った評価をするよう情報共有した。各授業の WEB 等を用いたアクティブラーニング内容についても報告がなされたが、検証までは至らず次年度の課題である。
3		※「Society5.0 の到来に備えた DP/CP の見直し」 ・CP・教育目標・履修系統図評価の検討	3 月 10 日	新たな DP 案を示し、それに沿って DP の再現性を評価するための小項目を設定、DP ルーブリック案を作成した。今後カリキュラムツリー、カリキュラムマップを作成し、実際に成績を入力し検証する。